研究機関名:東北大学

明元成為右・木札八子
受付番号: 2015-1-776
研究課題名
ウィリス動脈輪閉塞症(モヤモヤ病)の遺伝的要因の検索
実施責任者 (所属部局・分野等・職名・氏名):
医学系研究科小児病態学分野 教授 呉繁夫
研究期間 西暦 2016年 2月(倫理委員会承認後)~ 2021年 1月
対象材料
□過去に採取され保存されている人体から取得した試料
□病理材料(対象臓器名:   ) □生検材料(対象臓器名:   )
■血液材料 □遊離細胞 ■その他(抽出済み核酸)
□研究に用いる情報
■カルテ情報 □アンケート □その他( )
対象材料の採取期間:西暦 2005 年 4月~西暦 2015 年 12月
対象材料の詳細情報・数量等:
(対象疾患名や数量等の詳細を記すこと。多施設共同研究の場合は、全体数及び本学での数量等を記すこと。)
モヤモヤ病患者検体。
過去採取分:家系例 80 例、孤発例 320 例
新規採取分:家系例 40 例、孤発例 160 例
研究の目的、意義
先行研究(課題名:ウィリス動脈輪閉塞症(モヤモヤ病)の遺伝的要因の検索。承認番号:
2004-365, 2010-424) で得た既存試料・情報を継続申請課題で引き続き利用する。これにより、
いままでの研究成果を継続・発展させてモヤモヤ病の遺伝学的要因の理解をさらに深めること
が目的である。
実施方法
個別の遺伝子変異の解析:モヤモヤ病の疾患感受性遺伝子 RNF213 について、ダイレクトシー
クエンス法、LightCycler を用いた Hybprobe による変異解析法などによる解析を行う。
全エクソーム解析:各遺伝子のエクソンの配列を網羅的に解析する。
バイオマーカー解析:メタボローム・プロテオミクス解析により発症・予後予測に有用なバイ
オマーカーを探索する。

研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法

ご希望があれば、研究計画の詳しい内容をお見せすることができます。下記の問い合わせ窓口にご連絡ください。ただし、他の試料提供者の個人情報に関わる部分や研究の独創性の確保に支障がでる場合には、内容をお見せできないことがあります。

## 個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先:「本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口」 ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

- <人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>
- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又 は正当な利益を害するおそれがある場合

## 個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】 http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入しを情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html

## ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- <人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>
- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

## 本研究に関する問い合わせ・苦情等の窓口

住 所:宮城県仙台市青葉区星陵町1-1

研究機関名:東北大学医学系研究科小児病態学分野

電 話:022-717-7287 FAX:022-717-7290 担当者氏名:呉 繁夫

(E-mail:) kure@med.tohoku.ac.jp